

1 目指す児童像<<稚谷小の教育目標>>

「温故知新」は、初代校長 宮田 高男先生の言葉です。前に学んだことや昔のことを調べ考え、新たな知見を見だし、自分のものとする事です。これは、まさに学校教育の学びそのものであります。教科書を使って、自ら新しいことを学び考え行動し、創造力や個性を伸ばし、人間性を豊かにしていくことと同意であると考えます。

また、稚谷小学校の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とします。稚谷地域の一員としての自覚の基、ふるさと大田区に誇りもち、自らの力で人生を切り開き、「未来へ躍動する国際都市 おおた」で活躍する、心身共に健康で、豊かな人間性と未来を創る力のある人材を育てます。そして、一人一人の個性や能力に合わせたカリキュラム・マネジメントを通して、地域社会に開かれた教育課程を実現します。

これらのことから、本校は、以下の児童像を掲げ、**児童のウェルビーイングの実現**を目指し、自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を育成する教育活動を推進します。

	教育目標	具体
	元気な子(体)	たくましく生きるための意欲と健康と体力をもつ子
◎	考える子(知)	知識を習得し、よく考え課題を解決する子
	思いやる子(徳)	差別をせず、偏見をもたず自他を大切に子

2 上の1で掲げる知・徳・体をバランスよく育成するために、次の6つ力の基礎づくりに取り組む。

	6つの力	具体的な姿
1	【正しく適切な知識・技能の活用力】 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する力	一人1台端末を効果的・倫理的に活用する。
2	【協働性】多様な社会グループにおける人間関係形成力	他者と協力して課題に取り組む。
3	【自律性】自律的に行動する力	人に迷惑をかけず、自分で決め、人のせいにはしない。
4	【創造性】新たな価値を創造する力	自分で考え、挑戦(チャレンジ)する。
5	【合意形成】対立やジレンマを克服する力	意見の相違を解決する。
6	【責任感】責任ある行動をとる力	最後まで粘り強く取り組む。

3 重点事項

(1) 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

①開校70周年(創立146年)記念行事「稚谷小 ウェルビーイングの実現」

②人権教育研究協力校としての人権教育の推進(児童の主体的な活動の推進)人権課題「子供」、「同和問題」、「障害者」、「高齢者」、「北朝鮮当局による拉致」、「ハンセン病」、「性同一性障害」等

③理科教育の基盤整備と質の向上; 理科室整備と活用、理科教育専門員の指導・助言による授業改善

④更なる一人1台端末等ICTの活用により、一人一人の力を最大限に伸ばす教育活動の実施

⑤体験活動の充実; ものづくり、自然体験等、総合的な学習の時間等を活用した、学び意欲を育てる体験活動の充実、**行事「音楽会」の計画的実施**

⑥キャリア教育; 明星大学教授による6年生への特別授業、東京航空局の出張授業

(2) 学力の向上【知】

①**校内研究の推進**(先行学習・全員「もっとわかる」保持と理解、全員研究授業(観察授業で)、自分で指導案を作成、予習・復習、全文視写と共書き、タブレットの質的活用、語彙力強化の辞書活用、効果測定の平均正答率のアップを目指す)

◎観察授業の視点(1学期「授業改善推進プラン」2学期「児童理解(QUの活用)」3学期「校内研究」)

②授業改善推進プランの絶対的取組。

③**赤本をもって授業しない。**教材研究し、自分の作成したノートで勝負する。

④読書活動の充実(読書活動計画を踏まえ、家読3回・読書学習司書の活用)と朝学習の効果的活用(読書以外に授業で活用する。)

⑤補習の充実(学習カルテの活用)

⑥漢字検定の令和3年度よりも充実! 学級ごとに児童の希望級の合格率の設定(自己申告時)

(3) 豊かな心の育成【徳】

①道徳授業地区公開講座の実施(都指導資料の活用)

②ウェルビーイングの実現につなげるゲストティーチャーによる授業

③Q-Uの効果的活用(いじめアンケート、学級経営)

④中休み、昼休みの外遊びの励行: 教員も遊ぶ

⑤自己肯定感や自尊感情の醸成につながる授業等での価値付け

(4) 体力の向上と健康の増進【体】

①第6学年におけるがん教育の実施

②「早寝・早起き・朝ごはん」の結果分析の活用と啓発

③一校一取組、一学級一実践の実施; 年度始めに決め、4月から実施

④体力テストの効果的実施と活用

⑤体育・健康教育授業地区公開講座の健康教育実施(授業は食育、**講演は「インターネット依存的傾向」**)

⑥学校2020レガシーとしてポッチャ等の実施と講演授業「デフリンピックの選手等の招聘」

(5) 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

①学級や教科経営力(**経営案の策定**)の向上と研修会の充実 ※特に若手10年未満の教員の定期研修実施

②働き方改革(年休取得15日以上、個人平日記念日、19時退勤の実施、年間平均長時間勤務45時間未満)

③いじめ対策委員会によるいじめ対応(「SOSの出し方に関する指導資料」の活用)

④不登校児童の支援(全員校長面接(3・6・8・11・1)・不登校児童支援委員会の定期開催(5・7・9・11・1・3)、居場所作り、担任による定期家庭訪問、登校支援アドバイザーと子供と家庭の支援員等の活用)

⑤スクールカウンセラーと養護教諭、管理職との連携強化(定期連絡会の開催と児童面談(6)の計画的実施、いじめ、問題行動等)

⑥安全指導日の全員実施

⑦研修の充実(特に人権、OJT校内勉強会)

⑧校務分掌改革(チームとしての改革、複数体制)

⑨学校菜園(東稚谷防災公園含む)の教職員による活用・管理の徹底

⑩教材の整備(**理科室整備と理科教材の整備**、各教科等の教材整備(なるべく私費購入しない)、指導書の購入)

(6) 学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育【学校・家庭・地域】

①わくわくスクール全員(教職員)1教室以上開催(45分間~60分間)※夏季休業日を中心

もちろん冬季休業日でも可

※学力向上に関する教室の実施(校長: 例)漢字検定、理科実験等)

※保護者が運営する教室の推奨

②SNSルールの改定(PTAと共に)※特活部で児童会活動を動かす。

③家庭学習の充実; 一人1台端末の活用、研究推進による予習の実施

5 服務等

(1) 服務の厳正

・名札・笛の着用 ・電話対応2コール以内

・全員、週案作成・提出(毎金曜日)

・机上整理

・提出期限厳守

・19時まで退勤(週2回の定時退勤)の励行

・教職員で決めたことの絶対実施(共通指導、期限厳守)

(2) 教師の当たり前の実施

・教職員の出退勤時の挨拶と校内で出会う外部の人への挨拶実施(子どもの手本)

・会議の時に、違うことをしない。会議を精選しましたので。

・夕会等では1分以内で発言

・朝の児童存在確認8:45※呼名の実施

・朝学習の確実実施(他のことや何もしないのはなし)

・出席簿の携行

・教室移動の際の防災頭巾の携行指導

・人権遵守(誤字のない掲示、コメント入り掲示、忘れ物チェックやテストが子どもの見える場所に置き去りにしていない)

・個人情報適切な管理(個人票の白紙がないように。地図や、学級名や出席番号の記載)

(3) 教室環境整備

・児童下校後、教室内と廊下の窓締め、ゴミ拾い、トイレのチェックと黒板クリーナーチェック

・退勤前に教室の机の整頓、清掃、黒板掃除

(4) オンラインによる学校評価等実施

6 評価 ※下線朱書個所は、新規にアンケートを作成要。太字は自己評価に掲載。

(1) 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

【関係者評価】保護者アンケート「授業を通して、児童同士の交流が行われている。」

A90 B85 C80 D80未満

①開校70周年（創立146年）行事「糺谷小 ウェルビーイングの実現」	全ての児童が、児童アンケート「開校70周年（創立146年）行事『糺谷小 ウェルビーイングの実現』が達成できたと思う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
②人権教育研究協力校としての人権教育の推進（児童の主体的な活動の推進）	全ての教員が、教員アンケート「道徳科等において、他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
③理科教育の基盤整備と質の向上	全ての教員が、教員アンケート「論理的、科学的な思考力の育成を目指し、『おたのみのづくり』を生かした体験活動や理数授業等を実施する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
④更なる一人1台端末等ICTの活用により、一人一人の力を最大限に伸ばす教育活動の実施	全ての教員が、教員アンケート「日常的（週3回以上）に、一人1台端末を活用した授業の充実を通して児童の情報活用能力（情報モラル含む）の育成を図る。」において、肯定的に回答している。 数値目標 90%
⑤体験活動の充実	【再掲】全ての教員が、教員アンケート「論理的、科学的な思考力の育成を目指し、『おたのみのづくり』を生かした体験活動や理数授業等を実施する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
⑥キャリア教育	全ての教員が、教員アンケート「キャリア教育の視点を踏まえ、児童の知識・技能、人権感覚や道徳性を養う力のあるゲストティーチャーを活用した授業を行う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%

(2) 学力の向上【知】

【関係者評価】保護者アンケート「教師は、タブレットや電子黒板等のICTを活用するなど、児童が分かりやすい授業を行っている。」

A95 B90 C80 D80未満

①校内研究の推進	全ての教員が、教員アンケート「学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について、指導する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
②授業改善推進プランの絶対的取組	全ての教員が、教員アンケート「授業改善推進プランを、授業に生かす。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
③赤本をもって授業しない。	【再掲】全ての教員が、教員アンケート「授業改善推進プランを、

	授業に生かす。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
④読書活動の充実	全ての教員が、教員アンケート「読書全体計画に基づき、学校図書館等の図書資料を活用する授業を行う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
⑤補習の充実	全ての教員が、教員アンケート「学習補助員等による算数の補習を実施する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
⑥漢字検定	学級ごとに希望級の合格率の設定し、児童に取り組みせる。 ・数値目標 8割の児童が希望級を達成できることを70%の学級で実現する。

(3) 豊かな心の育成【徳】

【関係者評価】児童アンケート「自分にはよいところがあると思う。」

A90 B85 C80 D80未満

①道徳授業地区公開講座の実施	全ての教員が、教員アンケート「道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
②ウェルビーイングの実現につなげるゲストティーチャーによる授業	【再掲】全ての教員が、教員アンケート「キャリア教育の視点を踏まえ、児童の知識・技能、人権感覚や道徳性を養う力のあるゲストティーチャーを活用した授業を行う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
③Q-Uの効果的活用（いじめアンケート、学級経営）	全ての教員が、観察授業において、Q-Uやいじめアンケートを活用した授業を行う。 ・数値目標 100%
④中休み、昼休みの外遊びの励行：教員も遊ぶ	全ての教員が、教員アンケート「体育的行事、休み時間など様々な機会を通じて運動習慣の確立を推進する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
⑤自己肯定感や自尊感情の醸成につながる授業等での価値付け	全ての児童が、児童アンケート「自分にはよいところがある。」と肯定的に回答している。 ・数値目標 90%

(4) 体力の向上と健康の増進【体】

【関係者評価】保護者アンケート「学校は、コロナ対策をしながら、心身の健やかな成長のために体を使った体育健康教育を行っている。」

A90 B85 C80 D80未満

①第6学年におけるがん教育の実施	全ての教員が、教員アンケート「ゲストティーチャーの活用をはじめ、がん教育や性教育、食育等につながる健康教育の授業を実践する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
②「早寝・早起き・朝ごはん」の結果分析の活用と啓発	全ての教員が、教員アンケート『早寝・早起き・朝ごはん』月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習

	慣についての意識啓発を行う。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
③一校一取組、一学級一実践の実施	全ての教員が、教員アンケート「体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や『一校一取組』運動や『一学級一実践』運動を実践する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
④体力テストの効果的实施と活用	【再掲】全ての教員が、教員アンケート「体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や『一校一取組』運動や『一学級一実践』運動を実践する。」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
⑤体育・健康教育授業地区公開講座の健康教育実施	<u>全ての教員が、給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」の授業を行う。</u>
⑥学校2020レガシーとしてボッチャ等の実施と講演授業	<u>「デフリンピックの選手等の招聘」した公開講座(授業)を実施する。</u>

(5) 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

【関係者評価】児童アンケート「学校はとても楽しいと思う。」 A90 B85 C80 D80未満

①学級や教科経営力(経営案の策定)の向上と研修会の充実	教員全員が、学級・教科経営案を策定する。 ・数値目標 100%
②働き方改革	<u>全教員が、年休取得15日以上、19時退勤を実施し、年間平均長時間勤務45時間未満とする。</u> ・数値目標 90%
③いじめ対策委員会によるいじめ対応	全ての教員が、教員アンケート「学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。」で肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
④不登校児童の支援	全員校長面接(3・6・8・11・1)・不登校児童支援委員会の定期開催(5・7・9・11・1・3)、居場所作り、担任による定期家庭訪問、登校支援アドバイザーと子供と家庭の支援員等の活用を図る。
⑤スクールカウンセラーと養護教諭、管理職との連携強化	毎月1回以上、定期に打ち合わせを行う。
⑥安全指導日の全員実施	全ての教員が、安全指導目標を確認し、各学級で実施する。教員アンケート「安全」において肯定的に回答している。 ・数値目標 100%
⑦研修の充実	<u>全ての教員が「本校は研修が計画的に実施されていると思う。」</u> ・数値目標 90%
⑧校務分掌改革	全ての教員が、教員アンケート「校務分掌」において肯定的に回答している。 ・数値目標 80%

⑨学校菜園(東糀谷防災公園含む)の教職員による活用・管理の徹底	・全ての教員が、指導計画に沿い、活用・管理をする。
⑩教材の整備	全ての教員が、教員アンケート「児童の実態教材」において肯定的に回答している。 ・数値目標 90%

(6) 学校・家庭・地域が一体となっても進める教育【学校・家庭・地域】

【関係者評価】保護者アンケート「学校は、学校だよりや学校ホームページなどの情報で、学校の様子が分かるようにしている。」 A90 B85 C80 D80未満

①わくわくスクール全員(教職員)1教室以上開催	全ての教員が、1教室以上実施する。 ・数値目標 100%
<u>②SNSルールの改定</u>	<u>学校とPTAとで連携し、年度内に策定する。</u>
③家庭学習の充実	全ての教員が、教員のアンケート「オンラインを活用した家庭学習の課題を課している。」において肯定的に回答している。 ・数値目標 90%

(7) その他

①教室環境整備	全教員が、教員アンケート「教室環境整備」において、肯定的に回答している。 ・数値目標 90%
②オンラインによる学校評価等実施	学校評価等において、全保護者の9割以上がオンラインで回答する。

7 ウェルビーイングの実現につなげる教員研修及びゲストティーチャー(案)

(1) 教員研修

- 「いじめ関係(方針等含む)」校長
- 「不登校関係」校長
- 「Q-Uの基本」大学教授招聘 提案授業; 校長
- 「フィールドワーク」校長(ハンセン病資料館、武州鼻緒騒動現地)
- 「先行学習」授業高度化支援センター長 鍋木 良夫 先生
- ◎特別支援教育関係
- 「サポートルームについて」SR教員
- 「特別支援教育について」東京学芸大学准教授 増田 謙太郎 先生

(2) 人権教育関係

- 「同和問題『食肉市場』」部落解放同盟品川支部長 高城 順 様(6年生対象)
- 「LGBT」専門家(5・6年生対象・保護者対象)

(3) 道徳教育関係

- 「道徳教育について(都指導資料の活用)」指導主事(保護者対象)

(4) 体育・健康教育関係

- 体育・健康教育授業地区公開講座「インターネット依存的傾向」久里浜医療センター医師(保護者対象)
- 「SNSとインターネットの使い方」校長(5・6年生対象)
- 「がん教育」保健師(6年生)

(5) 学校2020レガシー

- 「ボッチャの実施」
- 「デフリンピックについて」デフリンピック選手(児童・保護者対象)

(6) キャリア教育

- 「中学校に向けて」明星大学教授 樋口 豊隆 先生(6年生対象・6年保護者対象)
- 「空港教室」航空局 能登 氏(6年生対象・6年保護者対象)

(7) 研究関係

- 授業高度化支援センター長 鍋木 良夫 先生

(8) 服務研修(4・7・12)管理職